vulgaris. Bot. Mag. Tokyo **41**: 219-224. Tanaka, R. 1971. Types of resting nuclei in Orchidaceae. Bot. Mag. Tokyo **84**: 118-122. —— 1980. The karyotype. *In* Kihara, H (ed.), Plant genetics I: 335-358. Shokabo Book Co., Tokyo. (in Japanese). —— & K. Oginuma 1980. Karyomorphological studies on *Clethra barbinervis* and two allied species. Journ. Jap. Bot. **55**: 65-72. Taylor, R.L. & G.A. Mulligan 1968. Flora of the Queen Charlotte Islands. Part 2. 148 pp. Cytological aspects of the vascular plants. Queen's Printer, Ottawa.

* * * *

本邦産ヤマモモ *Miryca rubra* とヤチヤナギ *M. gale* var. *tomentosa* 及び北米産 *M. cerifera* と欧州産 *M. gale* var. *gale* との核形態学的研究を行ない，次の結果を得た。染色体数は *M. rubra* と *M. cerifera* は共に 2n=16 (二倍体)，*M. gale* var. *tomentosa* と var. *gale* は共に 2n=48 (六倍体) であった。これらはすべて，静止期染色体が単純染色中央粒型，分裂期中期染色体が勾配的染色体長及び対称的腕比で互いに類似していた。しかしながら，二次狭窄染色体は *M. cerifera* の 1 対の最長染色体の短腕基部でのみ観察された。このような核形態学的特質から，本邦産二倍体ヤマモモと北米産二倍体 *M. cerifera* とは核型的に分化していることがわかった。また，*M. gale* var. *tomentosa* と var. *gale* の核型は互いに類似し，これらの核型は，ヤマモモのように染色体組中に二次狭窄をもたない二倍体から起源した六倍体と推察された。

□西沢一俊：**ワカメが高血圧も成人病もハネ返す** 191 pp. 1986. 主婦の友社，東京. ¥690. 最近健康食品として海藻が見なおされ，海藻食品や海藻の健康維持への効能などについて幾つかの小冊子が出版されているが，正直言って満足させてくれる内容の本は極めて少なかった。本書は主な対象が家庭の主婦ということもあって，題名や記述はかなりくだけたものとなっているが，内容は科学的根拠に裏付けられており，教えられるところが多い。高血圧や動脈硬化あるいは脳卒中の予防になぜ海藻がよいか，制ガン効果があると言われるがそれはなぜか，多量に含まれるミネラルが健康によいのはなぜかなど，海藻成分と成人病あるいは美容等との関係が人体生理学や薬理学の立場から，長寿村の調査例，臨床実験例，成分表などを混えてわかりやすく解説される。栄養面から海藻の活用をはかりたい人や海藻一般に興味をもつ人によい参考書となるだろう。

(千原光雄)